

全事業所を対象とした「紙パックリサイクル推進キャンペーン」を実施しました

森永乳業グループでは、「全国牛乳容器環境協議会(容環協)」の会員として、日頃より紙パック回収ボックスを事業所に設置するなど、紙パックリサイクルの取り組みを推進しています。このたび、6月を「牛乳月間」「環境月間」にちなんで、「紙パックリサイクル強化月間」に定め、森永乳業グループの国内全事業所を対象に、紙パックリサイクル推進キャンペーンを実施しました。また、このキャンペーンを通じて回収した紙パック約24,000枚は、トイレトペーパー等へリサイクルし、「ドナルド・マクドナルド・ハウス」国内全13施設と「リラのいえ」(※)へ寄贈いたしました。



「ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大ハウス」への寄贈の様子



「リラのいえ」への寄贈の様子

※寄贈先について

①「ドナルド・マクドナルド・ハウス」

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが運営する自宅から遠く離れた病院に入院・通院している子どもとそのご家族のための滞在施設です。当社は、2001年の第1号ハウス設立時より当社商品の提供など、様々な支援を行ってまいりました。近年では、「ドナルド・マクドナルド・ハウス」への支援だけでなく、入院中の子どもたちとそのご家族をサポートする「ハートフルカート」活動(日用品などの「ちいさなギフト」を病棟にて無償で配布する)への参加も始めています。

②「リラのいえ」

認定NPO法人スマイルオブキッズが運営する、神奈川県立こども医療センターに入院・通院している子どもとそのご家族のための滞在施設です。これまで、当社社員が運営する社会貢献団体「森乳スマイル倶楽部」を通じた寄付や応援イベントの開催などを行っています。

森永乳業グループは、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、「『おいしいと健康』をお届けすることにより、豊かな「日常・社会・環境」に貢献し、すべての人のかがやく笑顔を創造し続けます」というサステナビリティビジョンを掲げ、このビジョンの実現に向けた活動を推し進めるべく、2022年5月に「サステナビリティ中長期計画 2030」を発表しました。また、「中期経営計画 2022-24」においても、「社会課題の解決と収益力向上の両立」をテーマとし、事業と連動したサステナビリティ活動に取り組んでいます。また、森永乳業グループ環境ポリシーにおいて「製品開発を含めた環境に関連する新技術開発を推進すること」を環境管理重点課題として取り組みを行っています。

引き続き、「かがやく“笑顔”のために」サステナビリティ活動に取り組んでまいります。